

**令和 7 年 6 月 16 日に開催された笠原地域地区懇談会議事要旨です
笠原地域の皆さまにお知らせいたします。**

1 テーマ 令和 7 年度主要事業について

2 おもな意見

①(事前質問) 地域の集会所の建て替えの資金確保、建て替えのガイドライン作成について市から支援していただけますか。

回答(くらし人権課)

自治会等の地縁による団体が維持管理している集会所を建て替え、改修する場合は、多治見市地域集会所施設整備等事業補助金を利用できます。新築の場合は補助率 1/3、補助限度額は 1,400 万円、改修の場合は補助率 1/3、補助限度額は 200 万円です。制度活用の場合は前年度までに事業計画書を提出いただく必要があります。

②(事前質問) 地域の集会所について既に改築された他地域の事例や同様の課題を抱える他の公民館の方向性について情報共有を推進してください。

回答(くらし人権課)

平成 29 年にホワイトタウン自治会センターの新築に対し市の補助金である地域集会所施設整備等事業補助金 800 万円を交付しています。また市の補助金とは別に一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティセンター助成事業があります。コミュニティセンター助成事業については 8 月の区長会でご説明します。

③(事前質問) 向島のテニスコートは閉鎖後駐車場になると伺いました。跡地に公民館を建設することについて市として支援を検討いただけますか。

回答(文化スポーツ課)

笠原向島テニスコートは TYK テニスフィールドへの統合に伴い、令和 10 年度末までを目途に閉鎖の方針としています。跡地利用については今後検討します。

④ 笠原小中学校、こども園の現在の進捗情報を教えてください。

回答(こども家庭課長)

6 月末で増築部分と仮設園舎が完成します。7 月から園児は仮設園舎に移動します。7 月からは既存園舎の改修工事に着手し、令和 8 年 3 月に完成し、4 月にリニューアルオープンとなります。

回答(教育長)

現在順調に建設が進んでおり、来年 4 月の開校を予定しております。開校前には地域住民の皆さまを対象とした内覧会を検討しています。

⑤ 中部学院大学の移転に伴い、民間業者などが連携して取り組んでいく機会が今後ありますでしょうか。

回答(企画部長)

現在大学と協議を始めた段階です。アイデアや課題がある場合は企画政策課が窓口となり大学側と調整を実施しますのでご相談ください。

- ⑥ **かさはら福祉センターについて現在どのように検討されているか教えてください。**

回答(福祉課長)

市、指定管理者、オールかさはらの3者で協議し方向性を検討中です。年内に施設の方針を決定し、地域の皆さまへ説明します。

- ⑦ **笠原地区事務所がなくなるかもしれないと伺いましたが事実ですか。**

回答(福祉課長)

現在、笠原地区事務所について議論、検討している事実はありません。
今後、公共施設適正配置計画に基づき、市全体の地区事務所のあり方を検討していきます。

後日補足(市民課)

第2次多治見市公共施設適正配置計画において、当面は現状のまま維持し、将来的には郵便局への業務移管を行うと方向性を示しています。

- ⑧ **市全体で地域の集会所の老朽化が進んでいます。災害に強いまちづくりを進める上で過去の建て替え事例を含めガイドラインを作成してほしいです。また南海トラフ発災の際、安全な暮らしが確保されるかも不安に感じます。**

回答(三の倉センター所長)

地域集会所施設整備等補助制度については、区長会で整備内容ごとに事例を示す等して情報共有を図っています。建て替え事例等について早急に知りたい場合は直接くらし人権課へお問い合わせください。

- ⑨ **東海環状自動車道を作る際に、自宅周辺にトラックが走行できる仮設道路ができました。道路について危険がないか、安心して住むことができるよう現場の確認をお願いします。**

回答(建設水道部課長)

現在は道路に入っていくことが出来ないよう規制をしています。簡易な道路であるため底面が抜けて崩れていかないよう、今後も対応策を検討していきます。

- ⑩ **仮設道路があることで大雨時などの土砂災害が心配です。危険を減らすために工事等も検討していただきたいです。**

回答(建設水道部課長)

安全に土砂を食い止める方法についても工事の設計の中で見て検討していきます。

- ⑪ **中京学院大学の移転について長所や効果だけでなく、周辺の交通渋滞や学生の生活支援が懸念として挙げられますがどのように感じていますか。**

回答(企画部長)

移転の効果について経済波及効果として1年目が47億円、2年目以降は毎年18億円の効果があります。交通渋滞や学生の生活支援についても現在大学と協議を進めています。

- ⑫ 議会の運営について、一部の議員や会派に対して反問権の行使など偏りがあると感じます。建設的な議論や多様な意見が認められる議会とは遠くなると感じますがいかがですか。

回答(都市計画部長)

反問権は制度として認められており、運用ルールも定められています。建設的な議論となるよう、質問の趣旨を確認するため、議長の許可を経て反問権を使用しています。

- ⑬ 多治見と瀬戸のパン企画や土日の虎渓用水広場のイベントについてなど市長が前面に出てリーダーシップをとっている機会が多く見受けられます。トップとして行動する必要があるのでしょうか。市長としての業務の優先順位をどのようにして付けているのか見解を伺いたいです。

回答(都市計画部長)

皆さまの目に見える部分だけを見るとご指摘のように思われることもあるかと思います。しかし、庁内の議論や会議などに出席し方針を定めたり、他市との連携などにおいて市長が先頭となって進めているなど、皆さまの目に見える部分、見えない部分の両方でリーダーシップをとっています。

- ⑭ 大学予定地の現笠原中学校の体育館は地域利用や避難所として利用されていますが移転後も同様に使用できますか。

回答(企画部長)

大学移転後も避難所として使用できるように協議を進めています。また体育館は移転後は大学の所有となり原則は部活動で使用の予定ですが、部活動を通じての地域交流を実施したいとの意向を聞いております。地域利用についても今後の話し合いで協議をしていきます。

- ⑮ 市営住宅の建物間の道路が道路幅がせまく大型車が通れない状況です。今後整備の予定があれば道幅の拡幅をお願いしたいです。

回答(都市計画部長)

集約化の対象となっている公営住宅については、集約後どのように活用していくかその時点で検討します。道路の通行で危険な箇所については、今後通路として使用を続ける場合には危険が解消されるように対応を行っていくことになると思います。

- ⑯ 笠原川の下水処理場付近の堤防を見ると舗装に穴が空いていたり沈下したりして危険と感じました。一度確認して欲しいです。

また、笠原交流センター臨時駐車場の草が川側、駐車場側の双方から伸びて危険でした。年1度ではなく、年2回草刈りをお願いできませんか。

回答(建設水道部課長)

場所の確認、特定をさせていただいた後、どのように対応するか検討していきます。

後日回答(建設水道部課長)

現地を確認し、管理者である岐阜県へと状況を報告しました。

- ⑰ 中京学院大学の収容定員充足率は今年度46%で50%以下が3年続くと国からの補助金が大きく減額されます。誘致の際に短期間で閉校となる可能性を考えたか。

回答(企画部長)

国の交付金が一定の条件を下回ると減額になることは市としても承知しています。学生数について移転により学生募集のエリアが拡大される点を踏まえ、学生数を増やしていけるよう市としても助言をしながら大学側と取り組みを進めていきます。

- ⑱ 来年4月からの水道料金の値上げは決定事項でしょうか。

回答(都市計画部長)

水道料金は条例で定まっているため、行政だけで決定することは出来ません。議会に諮った上で決定されるため、現時点では来年4月からの値上げの方向性で進めていますが、決定事項ではありません。

- ⑲ 滝呂バイパスを現在工事中ですが、優先度の高い音羽小田線の工事を優先できなかったでしょうか。

回答(建設水道部課長)

滝呂バイパスは岐阜県の事業として整備を進めていただいています。音羽小田線についてはJRとの協議や用地買収の関係から時間がかかるものと見込んでいます。